



「消費者の部屋 夏休み特別講座 親子見学バスツアー」を 開催しました

沖縄総合事務局1階の「消費者の部屋」では、消費者の皆様は農林水産業について理解を深めていただくため、令和6年8月6日に、小学生を対象に「夏休み特別講座 親子見学バスツアー」を開催し、牛乳工場及び牧場を見学しました。

当日は、親子9組、合計21名の方にご参加いただきました。当局で乳牛の一生についての講義を行った後、牛乳工場では、工場長より原料の搬入から製品ができるまでの一連の工程について説明していただきました。

参加者からの「牛乳を2種類作っているという説明がありました、その違いは何ですか」との質問に対し、工場の方から「殺菌における温度と時間の違いによるものです」と回答がありました。牧場見学では、担当者から乳牛の世話や乳を搾る時間などについて説明があり、参加者から「牛を初めて見ました」、「子牛は意外に大きかった」との感想が聞かれました。

「消費者の部屋」では、今後も農林水産業に関する情報発信をしていきますので、局HPや局公式SNSをご覧ください。



牧場見学の様子



工場見学の様子



沖縄総合事務局
農林水産部公式 SNS (X)
はこちら

お問合せ先

農林水産部 消費・安全課
☎098-866-1672



「特定家畜伝染病防疫作業 説明会」を開催しました ～鳥インフルエンザなど 家畜の伝染病の発生に備えて～

伝播力の強い高病原性鳥インフルエンザや豚熱などの特定家畜伝染病が発生した場合は、迅速な初動防疫によりそのまん延を防ぐ必要があります。

沖縄総合事務局では、特定家畜伝染病の発生に備え、農林水産部の職員を対象に、発生農場で実施する防疫作業についての説明会を開催しています。今年は7月12日に農林水産省動物検疫所沖縄支所、沖縄県畜産課から講師を招き、国外からの家畜伝染病の侵入を防ぐ動物検疫所の取組や初動防疫について説明いただきました。

また、今回は初動防疫の現場での対応に当たって講師から作業の手順等の説明を受けた後、防護服の着用未経験の若手職員を対象に、着脱の訓練も



動物検疫所の取組の説明



防護服の着脱訓練

実施しました。参加者からは、「二重に防護服を着ると想像しているよりも暑かった」、「ガムテープを一人でも外すのは大変だった」との感想がありました。今後も、関係機関の協力により初動防疫についての理解を深めるとともに、特定家畜伝染病が発生した場合には適切に対応してまいります。

お問合せ先

農林水産部 消費・安全課
☎098-866-1672